

第4回CFRPにおける最新技術動向セミナー

炭素繊維強化プラスチック（CFRP）は、軽量で機械的特性に優れていることから、航空機、水素タンク、風力発電ブレードをはじめとする多くの分野で用途が拡大し、最近ではドローンや、空飛ぶクルマをはじめとするエアモビリティの実現など先端技術分野にも積極的に採用され、世界各国で技術開発が進められています。

しかし、炭素繊維はリサイクル面で課題を抱えていることから、今回のセミナーではリサイクルに焦点を当て、幅広い領域にまたがる各分野で著名な講師陣によるセミナーを企画致しました。CFRPの最新情報や今後の方向性・トレンドを知ることができる本セミナーに多数のご参加をお待ちしています。

日時： 令和5年3月10日（金）13：00～18：00（ハイブリッド開催）

会場：名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホール

名古屋大学マップ <https://www.nagoya-u.ac.jp/extra/map/index.html>

参加費：無料

プログラム

開会の辞

13：00～13：05

名古屋大学 ナショナルコンポジットセンター 副センター長 山中 淳彦

講演1.

ゼロカーボンを目指す持続可能な社会における炭素繊維の役割

13：05～14：05

早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 ナノプロセス研究所 客員教授 加茂 徹 様

炭素繊維は軽量・強靱で、航空宇宙等のハイテク産業で使用されてきた。一方、製造エネルギーが大きく、使用済み製品の大部分は埋立処理されている。本講演では、持続可能な社会での炭素繊維の有効利用法を検討する。

講演2.

LCAから観るCFRPのリサイクル

14：05～15：05

神戸技術オフィス 代表 平野 康雄 様

CFRPの主要市場である風力発電機、航空機、自動車のいずれにおいても環境負荷低減・資源循環への対応が求められている。CFRPのリサイクル（資源循環）を環境負荷から観た検討（LCA）について紹介する。

【休憩10分】

講演3.

ふくい県が取り組む炭素繊維複合材料の開発

15：15～16：15

福井県工業技術センター 新産業創出研究部 部長 川邊 和正 様

福井県工業技術センターでは炭素繊維束の開繊技術による熱硬化性樹脂及び熱可塑性樹脂の薄層プリプレグシート製造技術を開発してきた。最近取り組んでいる開発技術内容及びリサイクル炭素繊維を活用する開発についても紹介する。

講演4.

NCCにおけるリサイクルCFRPの技術開発

16：15～16：45

名古屋大学ナショナルコンポジットセンター 研究員 井沢 省吾

NCCはNEDOプロジェクトの最終年度を迎え、リサイクル炭素繊維を用いた自動車用大型部品の成形に成功した。NCCが開発したLFT-D成形プロセスについて紹介する。

【休憩10分】

技術交流会

16：55～17：55

会場：名古屋大学野依記念学術交流館ホワイエ

閉会の辞

17：55～18：00

名古屋大学 ナショナルコンポジットセンター センター長 荒井 政大

【申込方法】 以下URLよりお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/rSxUFUbAmX>

【申込締切】 2023年3月7日（火）

【お問い合わせ】 名古屋大学ナショナルコンポジットセンター事務局（担当：小松 真奈美）

TEL：052-789-3282 Email: komatsu@ncc.engg.nagoya-u.ac.jp